

経営比較分析表（平成30年度決算）

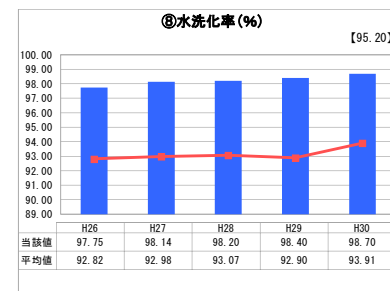
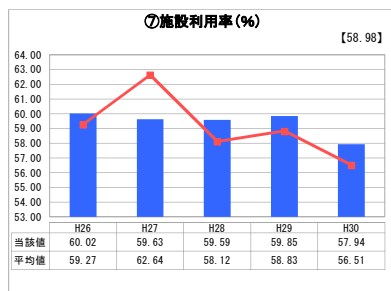
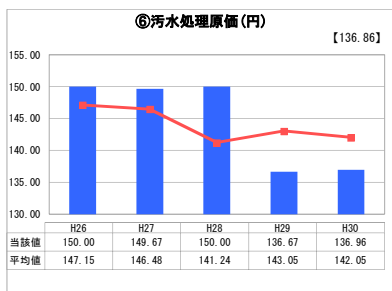
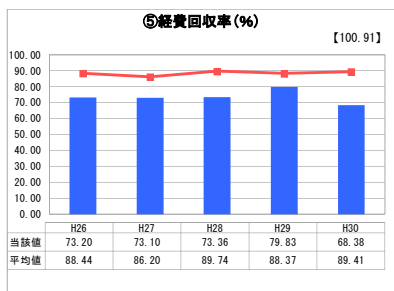
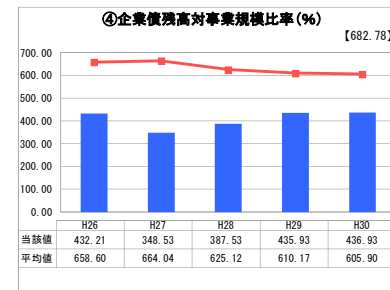
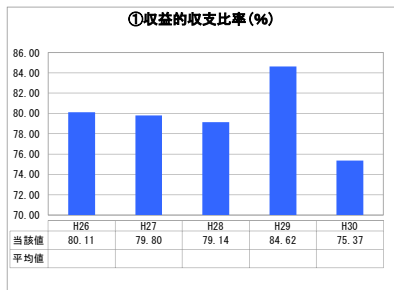
神奈川県 逗子市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	100.00	77.65	1,760

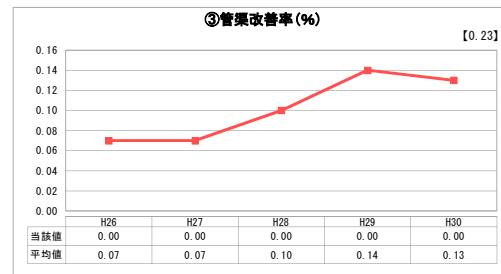
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,573	17.28	3,447.51
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
59,506	8.64	6,887.27

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度の収益的収支比率は著しく低くなって
いますが、これは平成31年度から地方公営企業法を
一部適用(財務適用)し、打切決算を行ったことに
起因しています。
打切決算を考慮して収益的収支比率を算出した場
合、前年とほぼ同率となりますが、経費回収率が低
く、必要な経費を一般会計からの繰入金等の使用料
収入以外の収入に依存している状況が継続している
ことから、使用料の見直しを検討する必要があります。
企業債残高対事業規模比率は類似団体と比較して
低い傾向にあります。今後大規模な施設更新に伴
う地方債の増額が見込まれ、より厳しい経営状況と
なることが予想されます。

2. 老朽化の状況について

昭和40年代後半に供用開始した本市においては、
特に処理場の老朽化は深刻な状況となっています。
処理場・管渠ともにストックマネジメント計画等に
基づいて、適切な改築・更新を行う必要があります。

全体総括

施設の老朽化が進んでいることを踏まえると、今
後、より厳しい経営状況に推移することが予想され
ます。収益的収支比率を低下させないよう、投資計
画の見直しや老朽化した施設の適正な維持管理費の
確保に努め、経費回収率等を参考に収支のバランス
を図り、経営を行ってまいります。
平成31年4月1日から地方公営企業法を適用し、
様々な経営指標及び財務諸表を作成したことによ
り、的確に経営状況を把握できるようになりました。
また、令和2年度には経営戦略の策定を予定し
ており、使用料の見直しも含め、経営健全化の取組
を進めてまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。